

銘柄分析レポート：永久保有銘柄

1 はじめに

かつて運用会社のフィデリティが、2003年から2013年にかけての顧客パフォーマンスを調査したところ、成績の良かった人の属性は次のとおりでした。

1位 亡くなっている人

2位 運用しているのを忘れている人

この調査は「一度買った株は、投資していることを忘れて、死ぬまで持ち続ければ儲かる」と言っているようなものです。

現に投資大国の米国では、買った株を売らずに持ち続けるバイ・アンド・ホールドを50年以上も続け、成功を収めた個人投資家が存在します。

アンネ・シャイバー女史とロナルド・リード氏です。二人とも多くの遺産を残し、それを寄付したため、全米に名前が知れ渡りました。

もともと、この手法は銘柄を厳選する必要があります。長きにわたり、成長を持続できる企業に投資しないとメリットを活かしきれません。

アンネ・シャイバー女史はペプシコやコカ・コーラなどの飲料メーカーに投資しており、ハイテクや重工業関連株には関心を持たなかったようです。

ロナルド・リード氏はP&Gやコルゲート・パーモリーブ（歯磨き粉でトップシェア）などの日用品メーカーを好んでいました。

今回の銘柄分析レポートでは、我が国においてバイ・アンド・ホールドの対象になりえる永久保有銘柄の候補を取り上げます。